

素早い処置が命救う！

勝山市職員らAED講習

素早い対処で人命救助を。AED（自動体外式除細動器）講習会」

（真庭保健所主催）が一日、真庭市勝山の勝山保健福祉センターであり、AEDの取り扱い方をはじめ、人工呼吸や心臓マッサージなど万一の際に備えた救命法を市職員ら十六人が学んだ。

講師に金田病院（同市西原）の医師、木下公久さんを迎え、真庭消防署員三人が指導を担当。最初に木下さんは、心臓や呼吸が突然止まった人に対し、迅速な心臓マッサージや人工呼吸といった処置が救命率を上げることを紹介した。

タミーを使った訓練で「応や呼吸がないことを確



心臓マッサージやAEDの使用方法などを学ぶ参加者たち

急車を呼ぶことやAED器の音声指示に従った操作を持ってくることを指示。人工呼吸や心臓マッサージを繰り返し、AEDが続いて、参加者たちは順番に救命処置を実践した。（岸俊行）

消防署員らにアドバイスを受けながら、もしもの際に役立てようと、真剣な表情で講習を受けていた。（岸俊行）